



IR REPORT

第112期中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

 **日本輸送機株式会社**



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第112期第2四半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の決算を行いましたので、その概要をご報告するにあたりご挨拶申し上げます。

取締役社長

二ノ宮秀明

▶ 当第2四半期連結累計期間の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、当初東日本大震災の復興需要を梃子に堅調に推移してきましたが、期間後半では海外経済の減速の影響等によって足踏み状態となり、フォークリフトの国内需要も後半には前年同期水準を若干下回る状況となりました。また海外は、中国が輸出減速の影響等で景気が落ち込んできたのに対し、東南アジア地区は内需が牽引して高めの成長率を維持しており、フォークリフト需要も中国が低迷する一方で、東南アジア地区は堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、国内において物流機器の専門メーカーとしての強味を活かし、お客様の様々なニーズに応えることで売上の拡大を図りました。また、海外では、景気後退や政治問題の影響で中国市場での販売は落ち込みましたが、堅調な東南アジア地区で補うべく拡張に努力しました。しかし、物流システム事業及びその他事業の売上が減少したこともあり、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比0.5%増の403億9千9百万円となりました。

利益面では、サービスの拡大、製造コストの改善等がありましたが、販売価格の低迷等により、営業利益は前年同期比2.2%減の9億8千5百万円、経常利益は同6.3%増の10億7千8百万円となりました。また、前年同期には補助金による特別利益があったこと等により、四半期純利益は同23.6%減の5億1千3百万円となりました。

▶ セグメント別の概況

▶ 国内フォークリフト事業(主にフォークリフト)

国内フォークリフト事業は、新車需要が後半落ち込んだものの、当第2四半期連結累計期間で前年同期比9.2%増と堅調だったこと、サービス売上が着実に増加したこと等で、当部門の売上高は前年同期比4.8%増の290億6千8百万円となりました。

利益面では、新車の販売価格の低迷で採算が悪化したこと等により、営業利益は同0.6%減の23億3千5百万円となりました。

▶ 海外事業(主にバッテリーフォークリフト)

海外事業は、東南アジア市場の拡大が牽引し、当部門の売上高は前年同期比11.7%増の52億3千9百万円、営業利益は同75.3%増の6千8百万円となりました。

▶ 物流システム事業(無人搬送システム、自動倉庫などの物流合理化製品)

物流システム事業は、当第2四半期連結累計期間中では大口受注があったものの売上計上に寄与した案件が少なく、当部門の売上高は前年同期比23.2%減の47億4千8百万円、営業損失は2億1千3百万円(前年同期は営業損失2億8千5百万円)となりました。

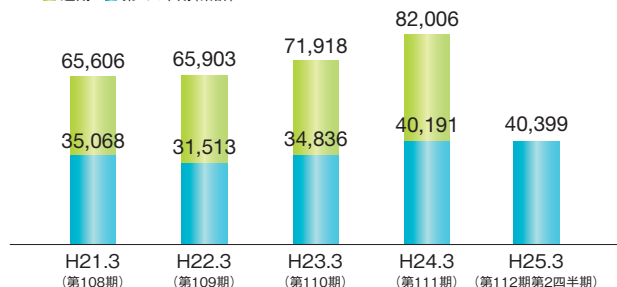
▶ その他事業(巻取機製品及び環境機器)

巻取機は、物流システム事業と同様に当期間中の売上計上に寄与した案件が少なく、売上高は前年同期比15.1%減の13億4千3百万円、営業利益は同26.8%減の8千8百万円となりました。

売上高

(単位:百万円)

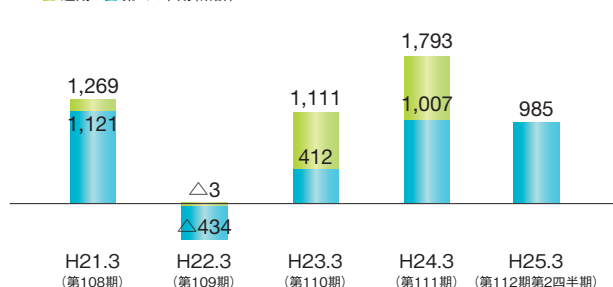
■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



営業利益

(単位:百万円)

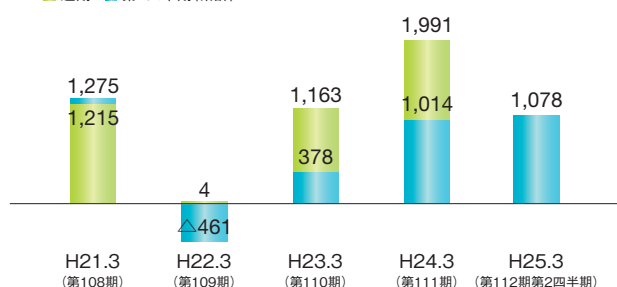
■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



経常利益

(単位:百万円)

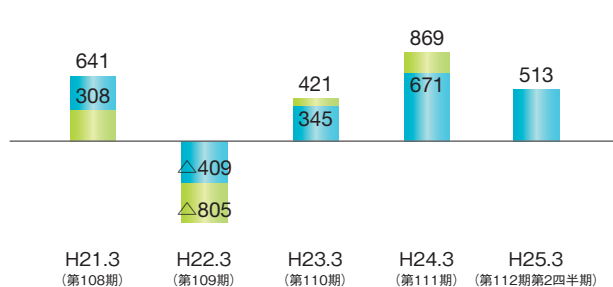
■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)

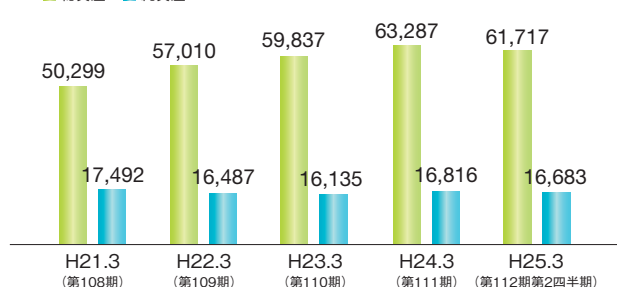
■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



総資産・純資産

(単位:百万円)

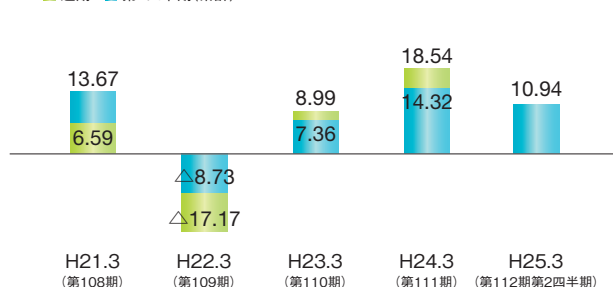
■ 総資産 ■ 純資産



1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 H24.9.30現在	前期末 H24.3.31現在
【資産の部】		
流動資産	32,273	34,028
固定資産	29,443	29,259
有形固定資産	21,044	20,608
無形固定資産	345	328
投資その他の資産	8,053	8,322
資産合計	61,717	63,287
【負債の部】		
流動負債	31,735	33,708
固定負債	13,298	12,763
負債合計	45,033	46,471
【純資産の部】		
株主資本	17,056	16,824
資本金	4,890	4,890
資本剰余金	3,299	3,299
利益剰余金	8,898	8,666
自己株式	△ 32	△ 31
その他の包括利益累計額	11	292
新株予約権	5	—
少数株主持分	△ 389	△ 301
純資産合計	16,683	16,816
負債純資産合計	61,717	63,287

連結貸借対照表のポイント

総資産は、売掛金回収による売上債権減少が進み、国内販売子会社のリース・レンタル車両への設備投資による機械装置及び運搬具の増加、タイ子会社での投資による建設仮勘定増加もあり、617億1千7百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、450億3千3百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上があったものの、その他有価証券評価差額金の減少により166億8千3百万円となりました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期(累計) H24.4.1～H24.9.30	前第2四半期(累計) H23.4.1～H23.9.30
売上高	40,399	40,191
売上原価	31,364	31,457
売上総利益	9,034	8,733
販売費及び一般管理費	8,049	7,726
営業利益	985	1,007
営業外収益	255	200
営業外費用	162	193
経常利益	1,078	1,014
特別利益	0	110
特別損失	107	22
税金等調整前四半期純利益	971	1,102
法人税、住民税及び事業税	544	577
法人税等調整額	△ 2	△ 135
少数株主損益調整前四半期純利益	429	660
少数株主損失(△)	△ 83	△ 10
四半期純利益	513	671

連結損益計算書のポイント

売上高は、国内・海外とも堅調に推移した結果、403億9千9百万円となりました。

経常利益は、売上高増加に加えて、コスト低減効果や損益改善努力の積み上げなどにより、10億7千8百万円となりました。四半期純利益は、前年同期にあった補助金による収入減少と機械装置更新による除却損等により5億1千3百万円となりました。

TOPICS

「プラッター」が累計出荷台数20万台を突破

1958年(昭和33年)に発売を開始したリーチ型バッテリーフォークリフト「プラッター」の国内外出荷台数が20万台を突破しました。

プラッターは鉄道の貨車内で作業の出来るバッテリー式フォークリフトという厳しい開発条件のもと、日本初のリーチ型バッテリーフォークリフトとして誕生しました。

発売以来半世紀を超え、プラッターは屋内作業用の定番フォークリフトとしてクリーンな環境現場が多い食品流通、各種製造、倉庫など様々な業種のお客様に広く使用され、リーチ型バッテリーフォークリフトの代名詞としてご愛顧いただいています。

今後も時代の先端技術を取り入れたニチユの看板機種として、多様な市場ニーズに応えて参ります。



4月13日に举行された「プラッター累計出荷台数20万台達成式典」。左から 日輸工業(株) 宮部社長、灰崎専務、裏辻会長、二ノ宮社長、ニチユMHIフォークリフト(株) 各務社長

リチウムイオン電池搭載のコンセプトフォークリフトを出展

2012年9月に東京ビッグサイトで開催されましたアジア最大級の物流・ロジスティクスの展示会『国際物流総合展2012』にリチウムイオン電池搭載のコンセプトフォークリフトを出展しました。

「スマートフォークリフト」として紹介されたこのフォークリフトはニチユ製の車体に三菱重工業製のリチウムイオン二次電池を搭載。フォークリフト単体の高性能だけでなく、車体と急速充放電器を接続することにより、EV車による一般家庭におけるスマートハウス同様に、フォークリフトを活用した物流環境における新たなエネルギーマネジメントシステムを提案いたしました。

最先端のエネルギーマネジメントが生み出すスマートな物流現場は間もなく実現しようとしています。当社のスマートソリューションが生み出す新時代の物流ワールドにどうぞご期待ください。



『国際物流総合展2012』でのプレゼンテーションの様様。

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

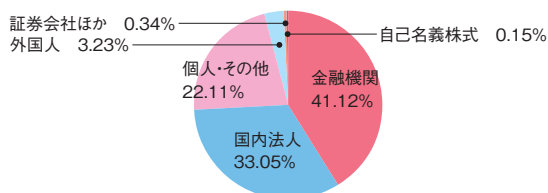
発行可能株式総数…………… 140,000,000株
発行済株式総数…………… 46,977,832株
当中間期末株主総数…………… 3,333名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱重工業株式会社	9,400	20.01
株式会社GSユアサ	4,701	10.01
日本トラスティサービス信託銀行株式会社	3,033	6.46
明治安田生命保険相互会社	2,765	5.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,612	5.56
東京海上日動火災保険株式会社	1,853	3.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,363	2.90
株式会社京都銀行	1,301	2.77
野村信託銀行株式会社	1,222	2.60
日本輸送機従業員持株会	1,075	2.29

(注)持株比率は、発行済株式総数に基づき算出しております。

所有者別株式分布状況



会社概要 (平成24年9月30日現在)

社名 日本輸送機株式会社(NIPPON YUSOKI CO., LTD.)

創立年月日 昭和12年8月4日

資本金 4,890,526,626円

事業所

本社 〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号

京都工場 TEL075-951-7171

滋賀工場 〒521-1334 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇8-1
TEL0748-46-5511

オンライン 〒345-0023 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字本郷576

研修センター TEL0480-37-2108

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 Tel0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7105/7105.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

